

電動車の普及による脱炭素社会の実現を目指し 新たに公用車として軽EVを11台導入しました

相模原市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けた取組を進めているところですが、このたび、公用車として新たに軽の電気自動車（EV）を11台導入しましたのでお知らせします。

運輸部門における脱炭素化も重要と認識しており、今後とも二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向け、電動車の普及などの取組を率先して進めてまいります。

1 導入車両

日産 SAKURA

2 配置場所及び導入台数

相模原市役所 本庁舎	9台
緑区合同庁舎	1台
南区合同庁舎	1台



3 導入日

令和4年11月7日（月）

【公用車の電動化に係る相模原市の取組について】

相模原市は、2021年8月に策定した「さがみはら脱炭素ロードマップ」に基づき、代替可能な次世代自動車がない場合を除き、全ての公用車を次世代クリーンエネルギー自動車（CEV）とすることを目指しています。



問合せ先

ゼロカーボン推進課（脱炭素に関すること）
電話：042-769-8240

管財課（公用車に関すること）
電話：042-769-8333